

# **Mazda** FANBOOK



MAZDAのDNAとVISIONを共有する

# MAZDA FAN BOOK

マツダ・ファンブック

新車情報からモータースポーツ、アフターマーケット情報まで  
マツダを愛するすべてのファンに送るファンブック

株式会社芸文社

新世代MAZDAのラインナップと

新世代ファンの台頭。

新たなトレンドをリードするメディアが必要です。

「ZOOM-ZOOM」「Be a driver」の理念のもと、一貫して、クルマの楽しさ、運転することの喜び、人生におけるときめきを感じるクルマ作りを追い求めるMAZDA。

新世代モデルが世に出る度に、その理念に共感を抱く多くのファンを生み出してきている。

CX-5、アテンザ、デミオ、ロードスターなど、車格や用途が違う車種であっても、オーナーたちが感じているMAZDAスピリットは、どのクルマにあっても共通です。

そんなMAZDAファンは、自らが共感を寄せるMAZDA車とMAZDAというブランドを「もっと知りたい」「もっと感じたい」「もっとつながりたい」という想いを抱いています。

だからこそ、今、そうしたファンのニーズに応えるべき、媒体が必要なのです。

SKYACTIVやG-ベクタリング コントロール  
それらを包み込む“魂動”デザイン。  
新世代ラインナップが出揃った今こそ、その時。



昨年発売された新型ロードスターの登場で、新世代商品と呼ばれる「魂動デザイン」を取り入れたモデルがフルラインナップされました。そこで、**全国のマツダディーラー店頭にも馴染むような**、MAZDAファンに向けた雑誌とします。

内容は、新車紹介から開発陣のインタビュー、今後のマツダの展望、さらに、モータースポーツもフィーチャーしますが、「マニア」のための自動車専門誌ではなく、マツダファンが気軽に手に取れて、「もっとマツダが好きになる」「マツダ車に乗ることが、もっと楽しくなる」媒体を目指します。

今のマツダ、そしてこれからのマツダが進む方向性を、自然に感じ取ってもらい、今MAZDAが目指している、MAZDAブランドの構築に寄与する媒体とすることで、MAZDAとのつながりを確保しながら、ユーザーにも支持される媒体を目指します。

メーカーの活動とファンの活動。  
両者の間に存在する複数のフィールドを  
シームレスに繋ぎ、マーケットを刺激します。



メーカー  
情報

モーター  
スポーツ

アフター  
マーケット

ユーザー  
情報

ディーラー  
情報

- ・新型車動向
- ・新デザイン
- ・新テクノロジー
- ・イヤーモデル

- ・MX-5カップ
- ・IMSАプロトタイプ
- ・Women in Motorsport  
プロジェクト/MZ Racing

MAZDAスピリットの訴求＝ブランディング

- ・新作パーツ
- ・カスタマイズ
- ・メンテナンス
- ・プロショップ

- ・愛車紹介
- ・オーナーライフ紹介
- ・イベント、オフ会取材

- ・ディーラー紹介
- ・ディーラーTUNE
- ・キャンペーン

実用性・ユーザーメリットの拡充と、オーナー同士の交流

メーカー活動とユーザー活動の「共働」により、「MAZDAファン」像を進化させます。

新車はデザインと技術で切る。  
アフター系の実用性高い情報も充実させる。  
立ち読みで済まされない、文字通りのファンブックへ。

### 【企画案 1】

まだまだ続く新世代商品のラインナップ あなたら次はどんなマツダに期待する？  
超高圧縮新世代商品群が6モデル出揃ったものの、追加ラインナップはまだまだ続きます。今年ロードスターのハードトップに加え、クロスオーバーのCX-4がショーデビューし、市販化が待たれています。そこで、ニューモデルの予測特集を企画します。

### 【企画案 2】

マツダがロータリーに続き本気で取り組むHCCIエンジンの実現は？  
超高圧縮エンジンのSKYACTIV-Gと低圧縮のSKYACTIV-Dで内燃機の効率化を実現したマツダは、ハイブリッドやEVではなく究極の内燃機と呼ばれる「HCCI(予混合圧縮自己着火)」の市販化に向けても研究を進めています。秋に開催される東京モーターショーには、プロトタイプを展示することも想定していると聞いています。そこで、人見光夫常務執行役員にHCCIの現状を伺いたいと思います。



## 【企画案3】

ディーゼルエンジンを復権させたSKYACTIV-Dはどこがスゴいのか？

通常の高圧縮ディーゼルエンジンに対して圧縮比14という低圧縮を実現し、高価な後処理技術を採用することなく、ディーゼルエンジンのネックとなっていたPMを除去することに成功したSKYACTIV-D。キモとなった低圧縮の実現、そしてディーゼルエンジンとしては高回転まで回ることなどSKYACTIV-Dの特徴を解説します。



## 【企画案4】

ディーゼルエンジンのメンテナンス方法とは？ エンジンオイル選択術

SKYACTIV-Dは、ガソリンエンジンと違った特有のメンテナンス方法はあるのか？ エンジンオイルはディーゼル専用となり、マツダではディーラーで推奨のオイルを入れることになっています。ですが、各アフターメーカーから専用モデルが販売されています。オイルメーカーの話題も取り込み、メンテナンス方法を公開します。

## 【企画案5】

アフターメーカーが考察するSKYACTIV-Dの可能性

パワーアップチューンを得意とするアフターメーカーもCX-5に注目している。HKSやブリッツなどもデモカーを用意し、ブーストアップの可能性やコンピュータの書き換えなどを行なっています。現状で、どのようなパワーアップ方法があるのか、リアルユーザーが最も知りたいであろう情報を紹介します。

各企画案は、Vol.1制作時の事例です。

毎号、ユーザー目線を重視し、タイムリーかつ実用性の高い情報を提供していきます。

## 国内外の最新モータースポーツ情報や MAZDAの旧車取材によるDNA再発見レポート。 ユーザー取材記事の「共感」による繋がり・拡がりを重視。



### ● 第一回「MX-5グローバルカップ ワールドシューティングアウト」

9月10日-11日の2日間に渡り、マツダ・レースウェイ・ラグナセカにて開催される「MX-5グローバルカップ」の世界大会をカバー。2017年からは国内シリーズも開催されるMX-5カップの模様を一足先に誌面公開。世界大会には欧州や国内から招待ドライバーが参加予定。国内シリーズ開催を控えて、参加者のみならず、ファンの注目度が高い記事となります。

### ● CX-9の初試乗とMNAOの紹介

ラグナセカでの取材と併せてCX-9にいち早く試乗。まだ、国内ではCX-9の試乗記や量産モデルのカットが出ていない段階で、先行試乗・先行公開し、ファンの期待に応えます。併せて、あまり国内では紹介されることの少なかったMNAO (Mazda North American Operation) の撮影と紹介記事も展開予定です。



### ● 「Be a driver Experience at FUJI SPEEDWAY」9月25日開催

9月に開催されたマツダ主催のオーナー参加型イベントを徹底取材。コースでのNDロードスターのパーティレースや787Bのデモランなどはもちろん、マツダ車オーナーを取材し多数掲載します。



## ●ワールドモータースポーツ・ダイジェスト

アメリカIMASAで活躍するマツダプロトタイプの活躍を中心に、マニア層以外のファンにもあまり知られていないマツダの活躍をリポート。国内でのモータースポーツでは、Women in Motorsportプロジェクトの活動を積極的にカバーしたいと考えております。(協力 MZ Racing)



## ●ヘリテージ:ルーツを探る旅 マツダ旧車紹介

最新モデルの紹介とともに、マツダが歩んできた歴史にも触れていきたいと考えています。今自分が乗っている車種を好きになってもらうのはもちろんですが、マツダ車全体、そしてマツダというメーカー自体のファンを増やしていきたいと考えております。



そのためには、これまでマツダが歩んできた道のりを理解してもらうこと、これまでの製品をきちんと紹介し、マツダのフィロソフィーを感じ取ってもらいたいと考えております。

※マツダの歴史、古いマツダ車については、「ノスタルジックヒーロー」誌監修のもと、正確な記事構成を徹底。マニアも納得のクオリティとします。

## ●感じたい！ つながりたい！ 表現したい！

あふれるマツダ愛を表現したいオーナーさん、もっとオーナー同士のつながりを持ちたいと考えるマツダファンのみなさん、こうした身近なオーナーさんを紹介していくことで、もっともっとマツダファンの輪を広げていきたいと考えます。

リアルユーザーの声を拾い、誌面でトレンドをピックアップすることで、マーケットに「動き」を生み出します。



各企画案は、Vol.1制作時の事例です。

毎号、ユーザー目線を重視し、タイムリーかつ実用性の高い情報を提供していきます。

MAZDAに親和性の高いプロダクションをコアに  
寺田陽次郎氏やMZレーシングのバックアップ体制。  
COTY系ジャーナリストによる説得力ある誌面構成に。



●製作

製作は、編集プロダクション・株式会社 アウェイク・アーツが担当。同社代表の真鍋裕行氏は、マツダのイベント等でコメンテーターとしてゲスト出演するなど、マツダとの関係性が深い。また、アフターパーツ系にも強い経歴を持ち、バランス感優れた誌面を作ります。

●協力

ミスターマンこと元マツダワークスドライバーの寺田陽次郎氏をスーパーバイザーに迎え、同氏率いるマツダ車向けのアフターパーツメーカー「オートエグゼ」にもご協力いただきます。

また、マツダのモータースポーツでの活躍を中心に情報を発信するマツダのセミオフィシャルサイトMZレーシング(代表・三浦正人氏)との協力体制も確率。マツダのファンイベントなどの実務を担当する同社からも記事提供や側面支援を受けます。

●COTY系モータージャーナリスト起用

竹岡圭／飯田裕子／片岡英明／田畑 修／御堀直嗣(敬称略)といった、マツダ及び芸文社と関係の深いライター陣を起用。説得力ある誌面とします。

## ■タイトル

MAZDA FAN BOOK (マツダ ファンブック)

## ■編集制作

株式会社 アウェイク・アーツ 代表 真鍋裕行

## ■想定主力車種

CX-3/5、アテンザ、デミオ、アクセラ、ロードスター

## ■対象読者

30～40代を中心とする20代～50代男性、および20代女性

## ■発売日

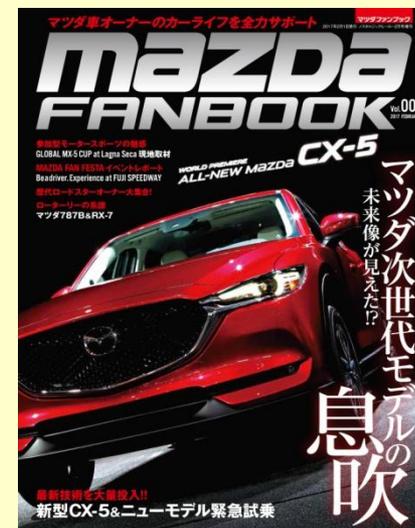
2016年12月22日

## ■刊行サイクル

季刊

## ■体裁・価格

A4変形(ワイド版) 1,200円+税(税込1,296円)



## ■MAZDAファンブック 広告掲載料金一覧表

掲載スペース	掲載料金	サイズ(天地×左右)mm
表4	¥700,000	277×220
表2	¥600,000	297×230
表3	¥500,000	297×230
4c1p	¥400,000	297×230
1c1p	¥200,000	297×230

- 掲示料金には消費税は含まれておりません。
- 上記には、広告デザイン制作費は含まれていません。
- 詳しくは広告代理店へお尋ね下さい。

### 【お問合せ先】

株式会社芸文社 広告部

〒170-8427

東京都豊島区東池袋2-45-9 芸文社ビル

TEL 03-5992-2052 FAX 03-5992-7162